

桜丘学区まちづくり推進委員会

委員長 藤井 政明

(問合せ先) 084-924-2584 (桜丘公民館)

## 事業内容

- (1) グラウンド・ゴルフ大会（3月，中止）
- (2) 料理教室（12月20日）
- (3) ふれあい交流事業（6月21日，12月6日）
- (4) おこまり相談（4月～3月，週3回）
- (5) 桜丘大運動会（5月24日，中止）
- (6) 子ども交流会（9月13日，中止）
- (7) 健康ウォーキング大会（11月8日 思い出号発行）
- (8) 地域安全パトロール（4月～3月，1日2回）
- (9) 安全啓発活動（7月，3月，通年）
- (10) 防災啓発活動（5月，6月1日～6月30日，11月22日）
- (11) 環境整備（7月23日，8月30日，11月1日，1月25日，2月7日）
- (12) 伝承文化（10月，12月20日，12月1日～1月10日）
- (13) とんど制作（11月1日～12月20日，12月20日～1月10日，1月11日）
- (14) 夏送りのタベ（8月，中止）
- (15) コミュニティ育成（通年，各自治会）
- (16) 広報活動（通年）
- (17) まちづくり推進委員会運営事業（通年）



安全啓発活動 看板設置

今年はコロナ感染拡大防止で「しめ縄づくり・ミニ門松づくり」は、材料などを取りにきてもらって各家庭で作成した。



2020. 12. 20



## 成果

伝承文化 しめ縄づくり・ミニ門松づくり

案内文・説明書・材料

学区防災訓練においては、運営内容ごとに7班に分かれ、意見交換を交わす中で、避難場所として対応するための準備や運営方法など様々な意見交換が交わされ、有意義な取組ができた。意見集約をもとに今後の防災訓練に生かしていきたい。また、各自治会で「防災・避難計画」を作成する中で、防災意識が高まった。

## 課題

今後も地域の伝承文化を継続するためには、若い世代を指導者として育成していく必要がある。

## 課題解決にむけて

地域の伝承文化事業の運営を若い世代を中心に、一緒に事業に取り組む中で伝統の技を学んでもらう。

# 防災啓発活動で ★ 地域力を高める桜丘



参加者には、感染予防対策として、マスクの着用と手のアルコール消毒、非接触型温度計で検温を実施した。

避難者受付表への記入では1枚1世帯ごとの情報を記入するようになっていたので戸惑う人がいた。家族覧に記入してもらうように対応したが、受付表も考慮して作成するべきだった。受付が密にならないように、間隔をあけて並ぶなどの工夫をした。

総務班(本部)、情報班、避難誘導班、救出・救護班、福祉班、給食・給水班、駐車場班の7つの班に分かれて避難場所として運営していくための準備や課題などをみんなで話し合った。情報収集はどうするのか…役割分担、必要な物品や機材は…。機材の保管場所の周知が必要！屋内だけではスペース的に対応できないことも考え、屋外でテントを張っての救護体制も必要では…等、多くの意見が出された。

## 避難場所開設訓練



各班での意見交換が終わったあと、6枚のパーティションを使用して、避難場所での一家族分(約5人)の広さを確認しているところ。今後、パーティションだけでなく、他の間仕切方法も考えていかなくてはいけない。



日頃からの 近所付き合いが大事♥